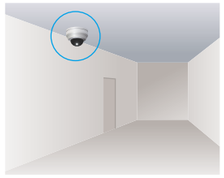
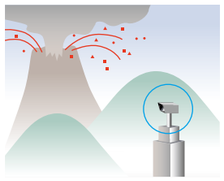
監視カメラ



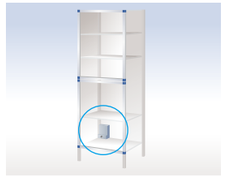
ドーム型監視カメラ

都心部監視用カメラ



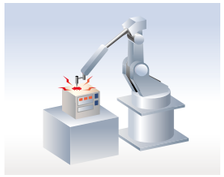
防災用監視カメラ

理化学用保管庫



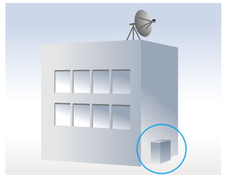
薬剤･光学部品保管庫

光応用機器



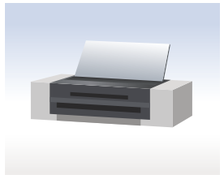
レーザー加工機

情報通信



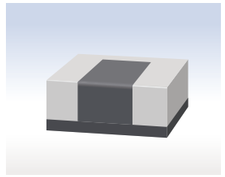
携帯電話用シェルター

OA機器



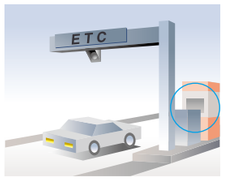
高画質プリンタ

分析装置

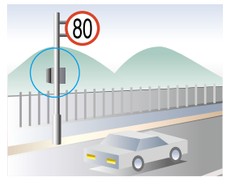


赤外分光装置(FT-IR)

道路設備

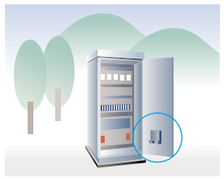


ETCS制御盤



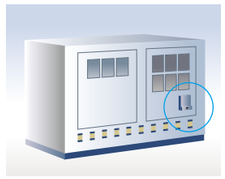
自動速度可変表示器

電力設備



監視制御盤

生産設備



NC制御盤

知的財産権

本方式による除湿器の基本特許は三菱電機(株)が保有しています。
当社はその使用許諾権を得るとともに関連特許を三菱電機と協同出願しております。

⚠ 注意

- ご使用にあたっては、製品に添付されている取扱説明書を充分にお読みください。
- 本カタログに記載の定格･寸法･外観などの仕様が変更されている事がありますので、充分お確かめのうえ、ご購入ください。

菱彩テクニカ株式会社
〒661-0001 兵庫県尼崎市塚口本町8丁目1-1
TEL.06(6497)9078 FAX.06(6497)9082
E-mail:rosahl@ryosai.co.jp
URL http://www.ryosai.co.jp

販売取扱会社	お問い合わせは

この印刷物は2014年9月発行です。なお、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。

2014年9月初版

結露対策／除湿機器

電気分解式 除湿素子･除湿器「ロサール」

21世紀の新しい常識

省エネ　ドレンレス　無騒音

ROSAHL

除湿の常識を変えました…

世界初の電気分解方式を採用しています。

特長

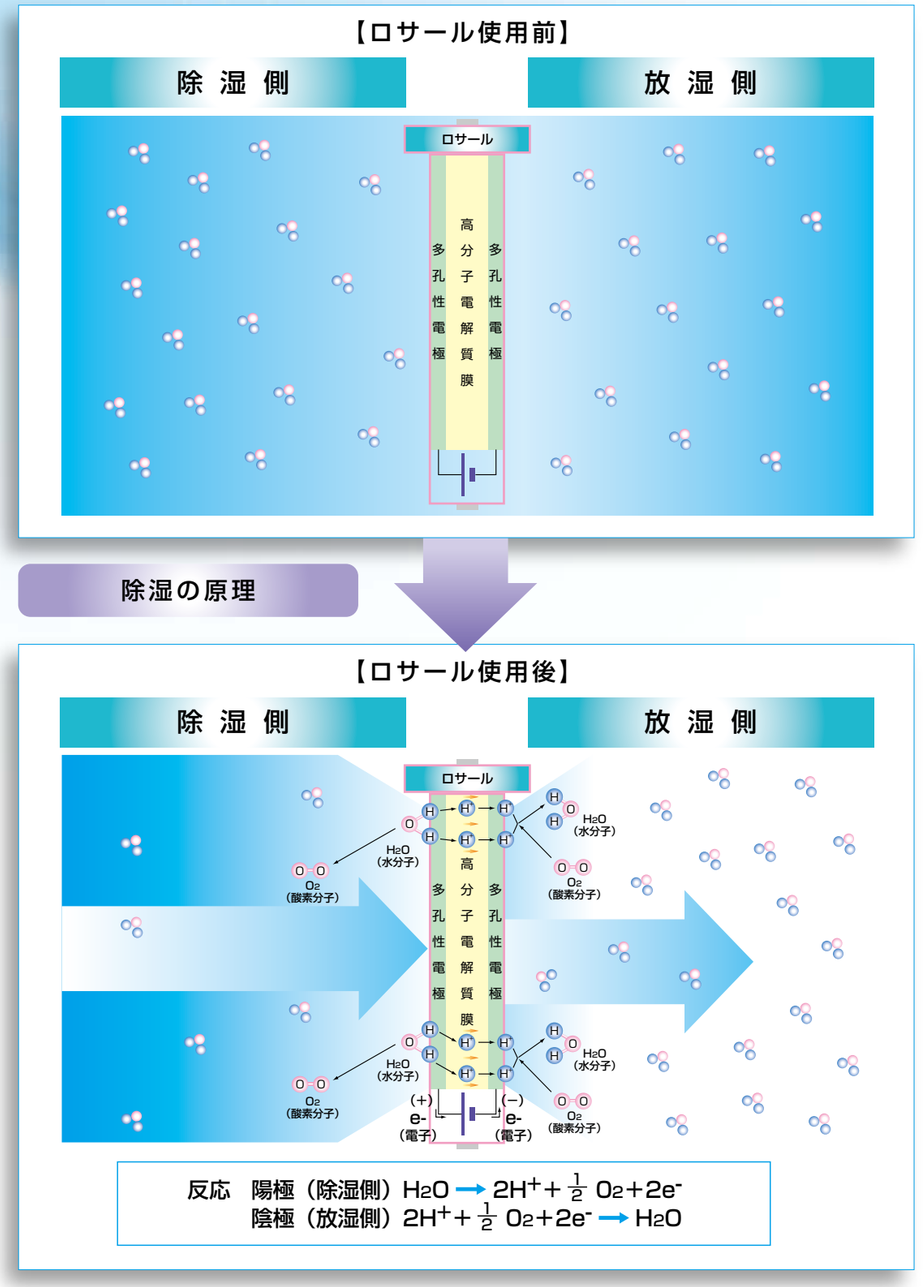
本製品は除湿方式が従来のものとは全く異なった固体高分子電解質膜（Solid Polymer Electrolyte）を利用して空気中の湿気を直接電気分解し除去する方式で数々の特長を有しています。
（ロサールとは「露、去る」から発想を得て命名いたしました。）

優秀省エネルギー機器 日本機械工業連合会 会長賞受賞

1. 省エネルギー製品です。
2. 水滴がでません（ドレンレス）。
3. 0℃以下でも除湿能力を発揮します。
4. 無騒音です。
5. 小形・軽量です。
6. 加湿器としても使用できます。

原理

●固体高分子電解質膜を利用し、容器内の湿気を電気分解して除去する新しいタイプの除湿器です。
●特殊固体高分子電解質膜に、多孔質の電極を取付けた除湿素子の両端に直流電圧を印加すると、陽極側（除湿側）の湿気は除湿素子の表面で水素イオン（H^+）と酸素に解離され、水素イオンは固体高分子電解質膜中を移動し陰極側（放湿側）に達します。
●陰極側で水素イオンは空気中の酸素と反応し水分子（気体）となり放出されます。



LINE-UP
製品ラインナップ

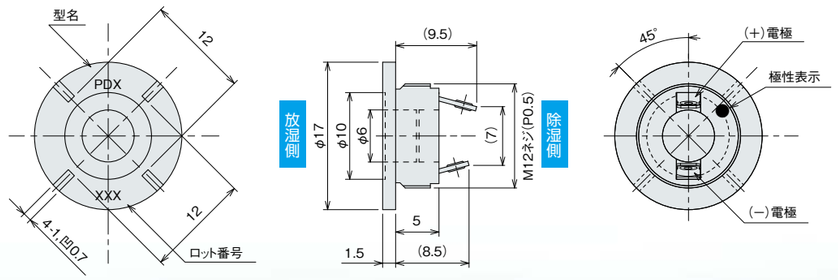
ROSAHL
ELECTROLYTIC DEHUMIDIFIER
ロサール

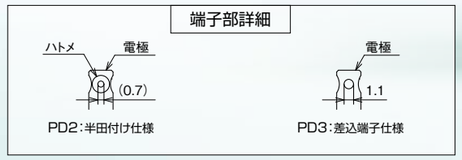
小型除湿素子

PD3

仕　様

図.1　外形図　（単位：mm）





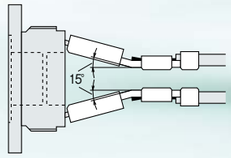


図.2　差込端子取付事例

型　名			PD2／PD3
除湿能力	(mg/日)	*1	84
適用容積	(cc)	*2	～2000
素子端子電圧	(V)		DC3V
消費電力	(mW)	*3	80
外形寸法	(mm)	*4	φ17×11
重量	(g)		0.9
放湿口加工寸法	(mm)	*5	M12ネジ(P0.5)
使用温度	(℃)		−10～50
素子接続端子仕様			PD2:半田付け　PD3:差込端子 *6

注 *1　温度30℃、湿度60%での初期値です。（除湿能力は、ご使用と共に徐々に低下します。低下の程度は、使用環境や使用条件によってかなり変化しますので、不都合の予兆が現れ始めてきましたら、早めの交換をお奨めします。）

*2　適用容積は、容器が透湿性のない密閉状態での値です。容器の材質や密閉状態及び要求湿度によって変わります。

*3　日本の平均環境での年間の平均消費電力値です。

*4　詳細は図.1を参照ください。

*5　詳細はp.10の取付方法を参照ください。

*6　PD3に接続する差込端子は、平型接続端子：STO-01T-110N(JST(株))or 同等品を使用してください。
但し、小型のため、そのままでは差込端子どうしが接触しますので、ご利用にあたっては、図.2を参考にしてください。

使用上の注意事項は p.14 を参照ください。

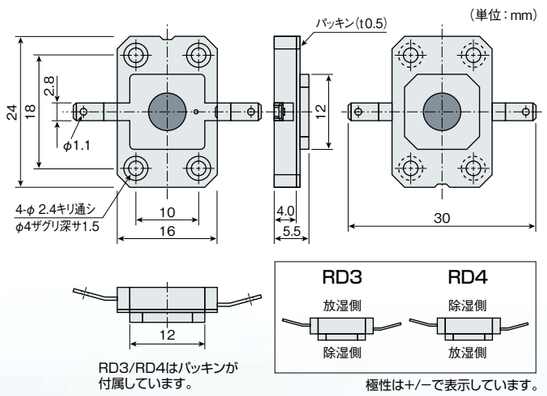
小型除湿素子

親指大の小型化を実現 !!

RD3

仕　様

（単位：mm）



RD3/RD4はパッキンが付属しています。

極性は+/−で表示しています。

型　名			RD3／RD4 *6
除湿能力	(mg/日)	*1	84
適用容積	(cc)	*2	～2000
素子端子電圧	(V)		DC 3V
消費電力	(mW)	*3	80
外形寸法(H×W×D)	(mm)		24×30×5.5
重量	(g)		1.9
放湿口加工寸法	(mm)	*4	12.5×12.5
使用温度	(℃)		−10～50
素子接続端子仕様		*5	半田付けor差込端子

注 *1　温度30℃、湿度60%での初期値です。（除湿能力は、ご使用と共に徐々に低下します。低下の程度は、使用環境や使用条件によってかなり変化しますので、不都合の予兆が現れ始めてきましたら、早めの交換をお奨めします。）

*2　適用容積は、容器が透湿性のない密閉状態での値です。容器の材質や密閉状態及び要求湿度によって変わります。

*3　日本の平均環境での年間の平均消費電力値です。

*4　詳細はp.10の取付方法を参照ください。

*5　差込端子は、平型接続端子:STO-01T-110N(JST(株))or同等品を使用してください。

*6　容器内を除湿する場合、「RD3」は容器の外側から取り付けるタイプ。「RD4」は容器の内側から取り付けるタイプです。

使用上の注意事項は p.14 を参照ください。

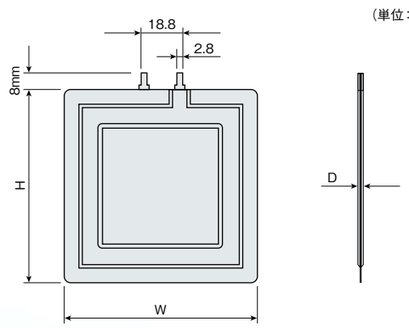
薄型除湿素子

厚みが 2.3mmと薄い !!

MDL-5

仕　様

（単位：mm）



極性は+/−で表示しています。

型　名			MDL-3	MDL-5	MDL-7
除湿能力	(g/日)	*1	4	8	16
適用容積	(m^3)	*2	～0.5	～1	～2
素子端子電圧	(V)		DC 3V		
消費電力	(W)	*3	2	3	4
外形寸法(H×W×D)	(mm)		88×63×2.3	88×88×2.3	108×108×2.3
重量	(g)		約20	約25	約50
放湿口加工寸法	(mm)	*4	55×30	55×55	75×75
使用温度	(℃)		−10～50		
素子接続端子仕様			(+)側：STO-41T-110N　(JST(株)) or 同等品		
			(−)側：STO-41T-110N-8(JST(株)) or 同等品		

注 *1　温度30℃、湿度60%での初期値です。（除湿能力は、ご使用と共に徐々に低下します。低下の程度は、使用環境や使用条件によってかなり変化しますので、不都合の予兆が現れ始めてきましたら、早めの交換をお奨めします。）

*2　適用容積は、容器が透湿性のない密閉状態での値です。容器の材質や密閉状態及び要求湿度によって変わります。

*3　日本の平均環境での年間の平均消費電力値です。

*4　詳細はp.11の取付方法を参照ください。

使用上の注意事項は p.14 を参照ください。

LINE-UP
製品ラインナップ

ROSAHL
ELECTROLYTIC DEHUMIDIFIER
ロサール

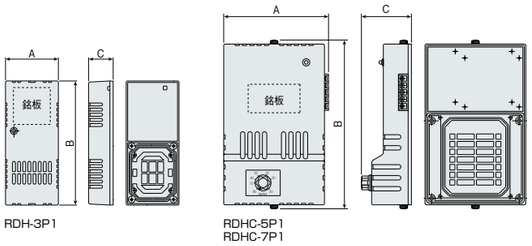
モールドタイプ除湿器

セパレートタイプ除湿器

湿度コントローラ付タイプ除湿器

汎用タイプ除湿器

仕　様



RDH-3P1

RDHC-5P1
RDHC-7P1

型　名		RDH-3P1	RDHC-5P1	RDHC-7P1
除湿能力	(g/日) *1	2.9	8	16
適用容積	(m^3) *2	～0.35	～1	～2
定格電圧	(V)	AC100/200V	AC100V	
消費電力	(W) *3	3	4	5
耐電圧性能	(V)	AC 2000(1分間)		
外形寸法	(mm) *4	72×169×34	144×231×69	
湿度設定範囲	(%RH) *5	—	20～80	
重量	(kg)	0.25	0.65	0.85
使用温度	(℃)	−10～50		

※上記写真に掲載している「RDH-3P1」は、AC100V用です。
なお、AC200V用は、電源コードの端末処理として圧着端子(R1.25-4)を標準装備にしております。
ご注文の際は、AC100V用又はAC200V用とご指定願います。

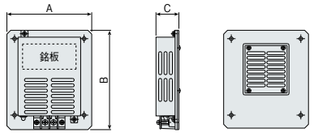
注 *1 温度30℃、湿度60%での初期値です。
(除湿能力は、ご使用と共に徐々に低下します。低下の程度は、使用環境や使用条件によってかなり変化しますので、不都合の予兆が現れ始めてきましたら、早めの交換をお奨めします。)
*2 適用容積は容器が透湿性のない密閉状態での値であり、容器の材質や密閉状態、及び要求湿度によって変わります。
*3 日本の平均環境での年間の平均消費電力値です。
*4 図のA×B×Cの寸法を示しています。
(RDHCタイプ及び湿度コントローラユニットのツマミの高さは15mmです。)
*5 RDH-3P1は、湿度コントローラは付いていません。
*6 定格負荷を接続した時の消費電力です。(電源ユニット参照)
*7 (　)内の値は、定格出力電流です。(電源ユニット参照)

取付方法については p.13 を参照ください。
使用上の注意事項は p.15 を参照ください。

■素子ユニットと電源ユニットは、セット製品です。下記の型名でご注文ください。

●セット型名

	RDHB-5J1	RDHB-7J1	RDHB-10J1
素子ユニット	S-5J1	S-7J1	S-10J1
電源ユニット	D-3006JW		D-3010JW



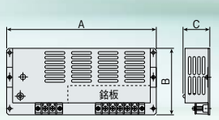
●素子ユニット

型　名		S-5J1	S-7J1	S-10J1
除湿能力	(g/日) *1	8	16	29
適用容積	(m^3) *2	～1	～2	～4
素子端子電圧	(V)	DC3V		
消費電力	(W) *3	3	4	8
外形寸法	(mm) *4	111×130×30	138×150×30	168×185×30
重量	(kg)	0.4	0.5	0.7
使用温度	(℃)	−10～50		

素子ユニット単体の販売も行います。

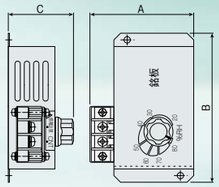
●電源ユニット

型　名		D-3006JW	D-3010JW
適合素子ユニット		S-5J1、S-7J1	S-10J1
定格電圧	(V)	AC85～264	
定格消費電力	(VA) *6	24	40
定格出力電圧	(V) *7	DC 3(6A)	DC 3(10A)
耐電圧性能	(V)	AC2000(1分間)	
外形寸法	(mm) *4	182×100×41	225×100×41
重量	(kg)	0.7	0.9
使用温度	(℃)	−10～50	

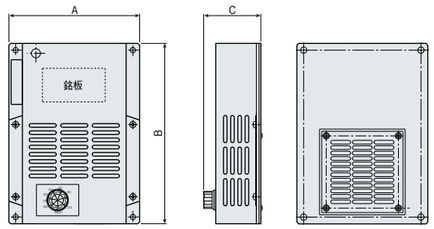


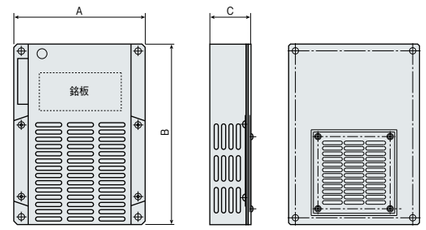
●湿度コントローラユニット(オプション部品)

型　名	C-M1J
耐電圧性能 (V)	AC2000(1分間)
外形寸法 (mm) *4	78×112×50
重量 (kg)	0.2
湿度設定範囲 (%RH)	20～80
使用温度 (℃)	−10～50



仕　様





●湿度コントローラ付タイプ

型　名		RDHC-5J1	RDHC-7J1	RDHC-10J1	RDHC-10J2
除湿能力	(g/日) *1	8	16	29	58
適用容積	(m^3) *2	～1	～2	～4	～8
定格電圧	(V)	AC100/110	AC100/110	AC100/110	AC100/110
消費電力	(W) *3	4	5	10	20
耐電圧性能	(V)	AC2000(1分間)	AC2000(1分間)	AC2000(1分間)	AC2000(1分間)
外形寸法	(mm) *4	115×170×65	145×200×65	175×245×70	195×370×70
湿度設定範囲	(%RH)	20～80	20～80	20～80	20～80
重量	(kg)	0.9	1.1	1.4	2.1
使用温度	(℃)	−10～50	−10～50	−10～50	−10～50

●汎用タイプ

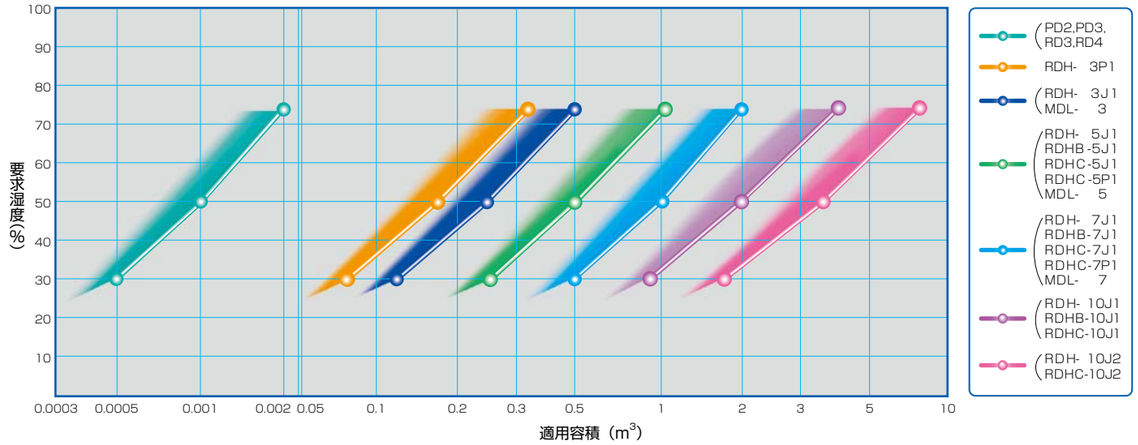
型　名		RDH-3J1	RDH-5J1	RDH-7J1	RDH-10J1	RDH-10J2
除湿能力	(g/日) *1	4	8	16	29	58
適用容積	(m^3) *2	～0.5	～1	～2	～4	～8
定格電圧	(V)	AC100/110	AC100/110	AC100/110	AC100/110	AC100/110
消費電力	(W) *3	3	4	5	10	20
耐電圧性能	(V)	AC2000(1分間)	AC2000(1分間)	AC2000(1分間)	AC2000(1分間)	AC2000(1分間)
外形寸法	(mm) *4	81.5×193×35	115×170×45	145×200×45	175×245×55	195×370×55
重量	(kg)	0.5	0.8	1.0	1.3	2.0
使用温度	(℃)	−10～50	−10～50	−10～50	−10～50	−10～50

注 *1 温度30℃、湿度60%での初期値です。(除湿能力は、ご使用と共に徐々に低下します。低下の程度は、使用環境や使用条件によってかなり変化しますので、不都合の予兆が現れ始めてきましたら、早めの交換をお奨めします。)
*2 適用容積は、容器が透湿性のない密閉状態での値です。容器の材質や密閉状態及び要求湿度によって変わります。
*3 日本の平均環境での年間の平均消費電力値です。
*4 図のA×B×Cの寸法を示しています。(RDHCタイプのツマミの高さは15mmです。)

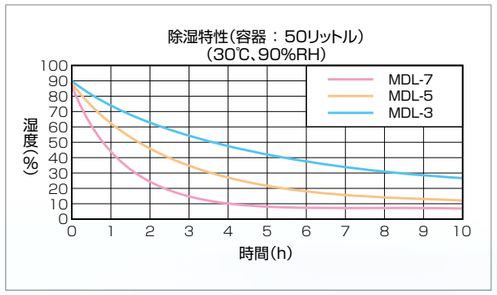
取付方法については p.12 を参照ください。
使用上の注意事項は p.15 を参照ください。

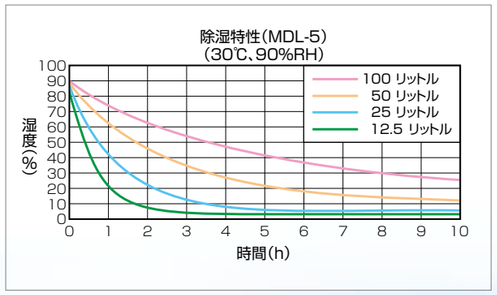
機種選定目安

機種選定については、適用容積と要求湿度により、下記のグラフを目安にしてください。
ご参考：1）グラフは外気湿度90%の条件下での関係を示します。
　　2）容器は透湿性のない密閉状態を前提とします。

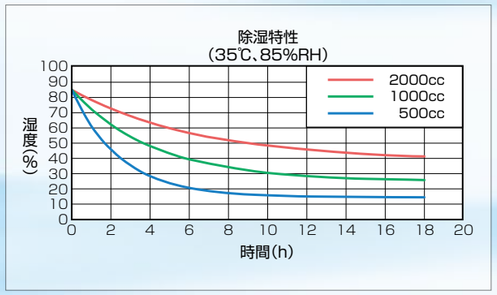


◆薄型除湿素子（MDL-3、MDL-5、MDL-7）





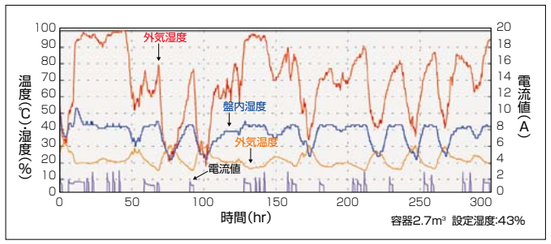
◆小型除湿素子（PD2、PD3、RD3、RD4）



・グラフの特性は、容器の材質･気密性により異なります。
・容器内に、樹脂系の収納物等、湿気を含む部材がある場合、容器内を除湿すると部材から湿気が放出されるため、容器内の除湿特性は遅くなります。
・素子の除湿能力は、容器内の絶対水分量に比例して変化します。

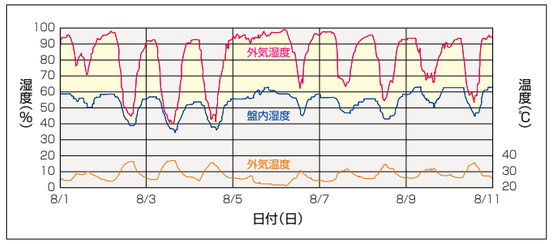
試験データ

■ 湿度コントローラ付タイプ（RDHC-10J1）の試験データ

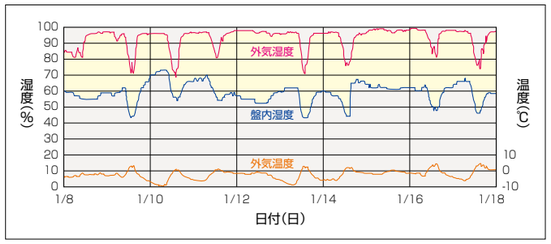


■ フィールドテストデータ

◆夏期高温多湿下での除湿効果



◆冬期寒冷多湿下での除湿効果



オプション部品

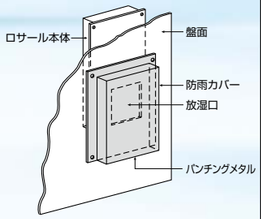
防 雨 カ バ ー：除湿器を屋外盤に使用する場合、放湿口からの雨水及び虫等の浸入防止用部品。
アダプターセット：除湿器を既設の屋外盤に使用する場合、放湿口の加工が丸穴で取付可能な、放湿口からの雨水及び虫等の浸入防止用部品。専用排気カバー付。

オプション部品

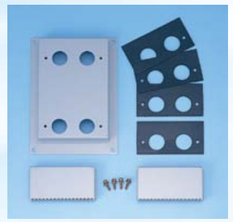
品名	型名	対応機種
防雨カバー	RDH-3J1用	RDH-3J1、RDH-3P1
	RDH-5J1用	RDH-5J1、RDHC-5J1、RDHB-5J1、MDL-3、MDL-5
	RDH-7J1用	RDH-7J1、RDHC-7J1、RDHC-5P1、RDHC-7P1、RDHB-7J1、MDL-7
	RDH-10J1用	RDH-10J1、RDHC-10J1、RDHB-10J1
	RDH-10J2用	RDH-10J2、RDHC-10J2
アダプターセット	RDH-5J1用	RDH-5J1、RDHC-5J1
	RDH-7J1用	RDH-7J1、RDHC-7J1
	RDH-10J1用	RDH-10J1、RDHC-10J1
	RDH-10J2用	RDH-10J2、RDHC-10J2

防雨カバーパーツ

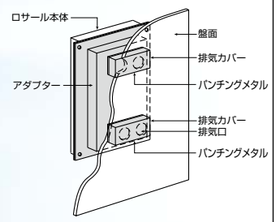
防雨カバー取付完成図



アダプターセットパーツ



アダプターセット取付完成図



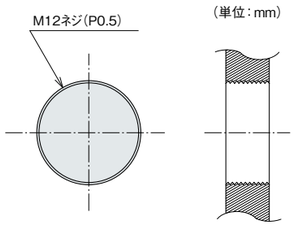
除湿素子 取付方法

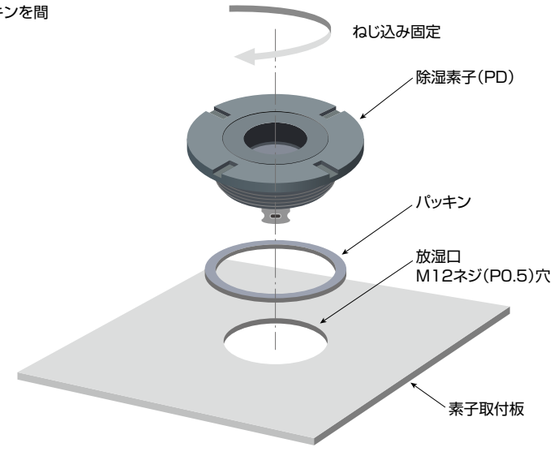
除湿素子の取付は、以下の方法を参考に、気密性が確保出来るように、取付けてください。

小型除湿素子の取付方法について

「PD2、PD3」

除湿素子を取付ける容器にM12（P0.5）mmのネジ穴を開け、パッキンを間に挟み、ゆっくりネジ込んでください。
（規定トルク:0.25~0.39N・m）
パッキンは付属しておりませんのでご準備ください。

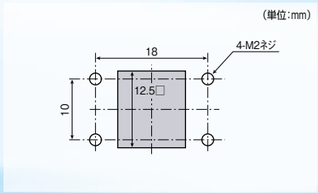


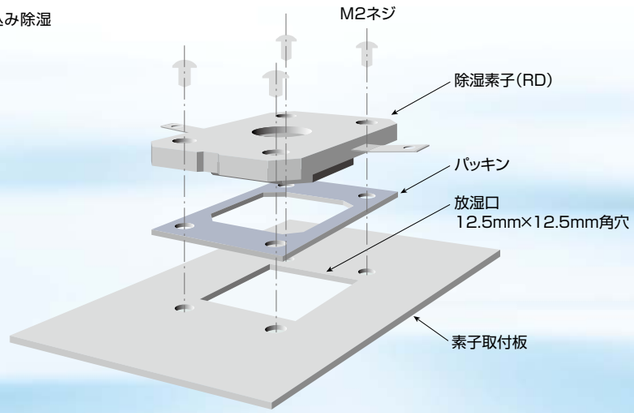


小型除湿素子の取付方法について

「RD3、RD4」

容器に12.5mm×12.5mmの角穴を開け、付属のパッキンを挟み込み除湿素子を取付け、M2ネジ(4本)で固定してください。
（規定トルク:最大0.18N・m）

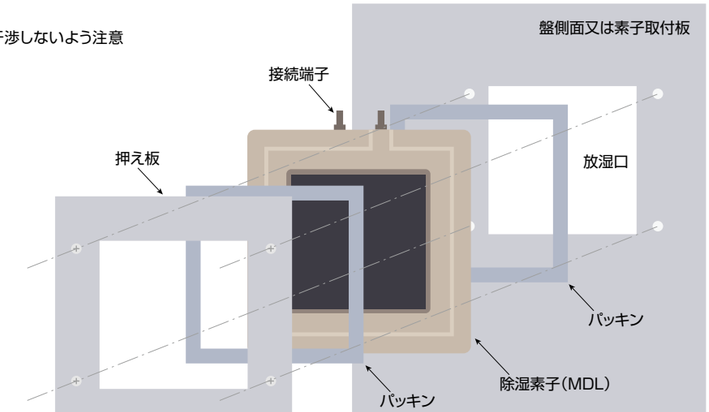


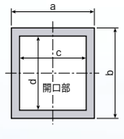


薄型除湿素子の取付方法について

「MDL-3、MDL-5、MDL-7」

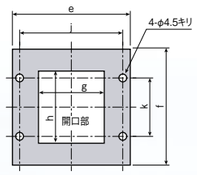
・右図のように、除湿素子の両面にパッキンをあて、上から押え板をあて、周囲4箇所程度をM4ネジで固定してください。もし、除湿素子の接続端子と盤側面の距離が確保出来ない場合は、一旦、別の素子取付板等に除湿素子を取付後、盤側面へ取付けてください。
・使用パッキンは、PTFE（ポリテトラフルオロエチレン）系で硬度が50程度のものを使用してください。
・屋外用盤に使用される場合は、防雨カバーの取付ネジと干渉しないよう注意してください。





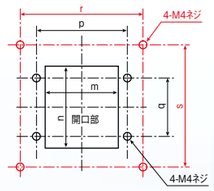
材料：PTFE系
硬度：約50
厚み：2mm

図.1パッキン



材料：SUS材
厚み：3mm

図.2押え板



黒：薄型素子取付穴寸法
赤：防雨カバー取付穴寸法

図.3取付穴加工寸法

●薄型除湿素子取付け関連寸法（推奨）

（単位:mm）

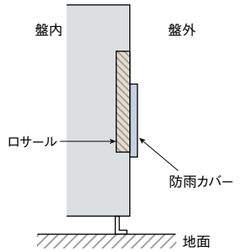
型名	パッキン(図.1)				押え板(図.2)						本体 取付穴寸法(図.3)				防雨カバー 取付穴寸法(図.3)		
	a	b	c	d	e	f	g	h	j	k	m	n	p	q	r	s	防雨カバー型名
MDL-3	45	70	30	55	80	75	30	55	70	40	30	55	70	40	135	125	RDH-5J1用
MDL-5	70	70	55	55	105	75	55	55	95	40	55	55	95	40	135	125	
MDL-7	90	90	75	75	125	95	75	75	115	60	75	75	115	60	175	150	RDH-7J1用

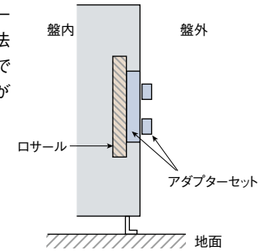
防雨カバーについては p.9 を参照ください。

除湿器 取付方法

取付方法には、直接取付方式とアダプター取付方式がありますので、
下記の図及び表を参照の上、穴明け加工を行ってください。

取付方式	直接取付方式	アダプター取付方式
	盤の側面に角穴の放湿口を開け、直接取付ける方法です。屋外盤の場合は、必ずオプション部品の防雨カバーを使用してください。	オプション部品のアダプターセットを使用して取付ける方法で、主として既設盤等、現地で角穴の放湿口を開けることが出来ない場合に使用します。





盤穴明け加工図

(1)湿度コントローラ付タイプ・汎用タイプ

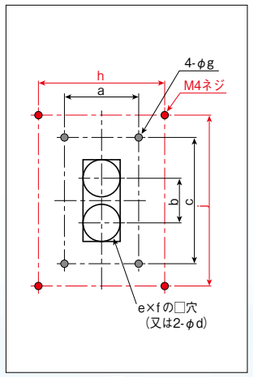


図.1

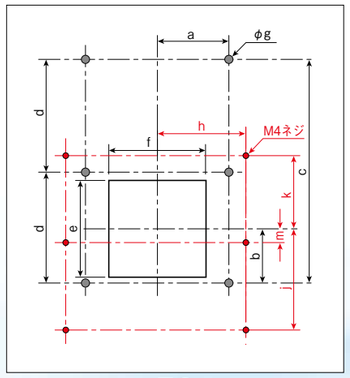


図.2

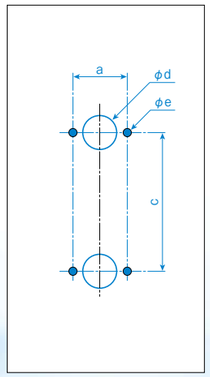


図.3

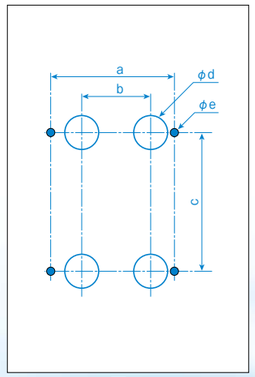


図.4

(単位:mm)

取付方式	形名	本体取付穴寸法 a	b	c	d	e	f	g	防雨カバー取付穴寸法 *1 h	j	k	m	備考
直接取付方式	RDH-3J1	50	30	85	(25)	25	55	5	85	115	—	—	図.1
	RDH-5J1・RDHC-5J1	52.5	39	160	—	70	70	5	67.5	72.5	52.5	—	図.2
	RDH-7J1・RDHC-7J1	65	50	185	—	95	95	6	87.5	85	65	—	
	RDH-10J1・RDHC-10J1	80	62.5	225	—	125	125	6	112.5	100.5	79.5	—	
	RDH-10J2・RDHC-10J2	90	135	350	175	250	125	6	112.5	162.5	142.5	10	
アダプター取付方式	RDH-5J1・RDHC-5J1	40	—	100	18	6.5	—	—	—	—	—	—	図.3
	RDH-7J1・RDHC-7J1	90	45	115	25	7.5	—	—	—	—	—	—	図.4
	RDH-10J1・RDHC-10J1	90	45	150	25	7.5	—	—	—	—	—	—	
	RDH-10J2・RDHC-10J2	90	45	260	30	7.5	—	—	—	—	—	—	

注 *1 オプションの防雨カバーを使用しない場合は不要です。

(2)モールドタイプ

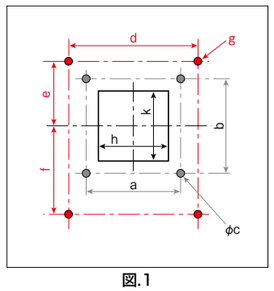


図.1

●本体及び防雨カバー

(単位:mm)

取付方式	型 名	本体取付寸法 a	b	c	防雨カバー取付寸法 d	e	f	g	放湿口 h	k	備考
直接取付方式	RDH-3P1	57	73	5	85	57.5	57.5	M4ネジ	35	35	図.1
	RDHC-5P1	120	106	6	175	67.5	82.5	M4ネジ	75	75	
	RDHC-7P1										

※RDHC-5P1・7P1の防雨カバー(オプション部品)はRDH-7J1用を使用してください。
※RDH-3P1の防雨カバー(オプション部品)はRDH-3J1用を使用してください。

防雨カバー、アダプターセットについてはp.9を参照ください。

(3)セパレートタイプ

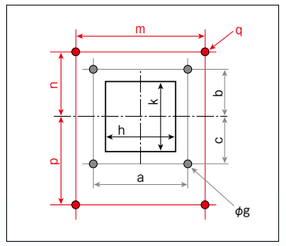


図.1

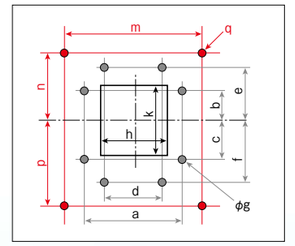


図.2

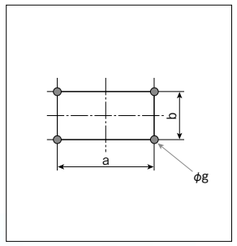


図.3

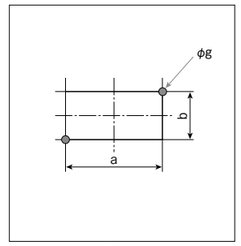


図.4

●素子・電源・湿度コントローラ ユニット

(単位:mm)

ユニット名称	型 名	取付関連寸法 a	b	c	d	e	f	g	放出口寸法 h	k	備考
素子ユニット	S-5J1	91	40	60	—	—	—	5	60	67	図.1
	S-7J1	118	50	50	—	—	—	5	80	87	図.1
	S-10J1	148	43.5	56.5	100	75	88	5	110	117	図.2
電源ユニット	D-3006JW	173	84	—	—	—	—	5	—	—	図.3
	D-3010JW	216	84	—	—	—	—	5	—	—	図.3
湿度コントローラユニット	C-M1J	102	40	—	—	—	—	5	—	—	図.4

●防雨カバー

(単位:mm)

取付方式	素子ユニット型名との対応 *1	防雨カバー取付寸法 m	n	p	q	備考
直接取付方式	RDH-5J1用防雨カバー	135	55	70	M4ネジ	図.1
	RDH-7J1用防雨カバー	175	65	85	M4ネジ	
	RDH-10J1用防雨カバー	225	90	90	M4ネジ	図.2

注 *1 防雨カバーは、素子ユニットの型名にあわせて選択してください。
例)S-5J1→RDH-5J1用

防雨カバーについては p.9 を参照ください。

除湿素子の使用上の注意事項

1. 本素子の除／加湿面には、手や物体が、触れないよう必要に応じて、保護カバーを取付けてください。
2. 取付前に、取付方向を間違えないよう、十分確認願います。
   取付方向を間違えると、除／加湿が逆になり、容器内の収納物に悪影響を及ぼす原因となります。
3. 本素子への供給電源について、次の事項を厳守してください。
   （1）絶対に極性を間違えないでください。（必要に応じて、外部に極性確認用LEDを取付けてください。）
   極性を間違えると、除／加湿が逆になり、容器内の収納物に悪影響を及ぼす原因となるばかりでなく、陰極側の多孔性電極が化学反応により消耗し、本素子の故障の原因となります。
   （2）除湿素子自身の特性上、電源ON時に比較的大きな起動電流が流れますので、使用される電源は、下記の仕様のものを推奨します。
   （3）電源は、除湿素子1台毎に、専用電源を使用してください。
   （電源1台で、複数の除湿素子を直列又は並列で駆動されると、除湿素子が何らかの原因で故障した場合、すべての除湿素子が動作しなくなることがあります。）

推奨電源仕様

	MDL-3	MDL-5	MDL-7	PD2/PD3/RD3/RD4
定格出力電圧	DC 3V			
定格出力電流	2A	3A	5A	500mA
過電流保護機能	○	○	○	○
（逆L垂下型又はフの字垂下型）	注）「フ」の字型の電源を使用された場合、除湿素子が正常に動作しない事があります。			
過電圧保護機能	○	○	○	○
出力電圧変動	0.1V以下			
リップルノイズ	0.2V以下			
その他	市販の電源仕様に準じる			

4. 本素子の適用に当たっては、容器が密閉構造になっていることを前提としております。また、容器の材質に透湿性がある場合は、期待通りの効果が得られませんので注意願います。
5. 本素子は、出来るだけ容器内の側面中央部にパッキン等で容器の気密性を確保して取付けてください。
   （天井面、床面への取付は避けてください。）
6. 密閉用のゴムパッキン等に酸化防止剤が含有されている場合、まれに除湿素子面に結晶が析出する場合がありますので、十分なご評価をお願いします。
7. 容器の気密性を確保するため、シール剤を使用される場合は、シリコン系シール剤の使用を避けてください。
   （シール剤が硬化する際に発生するオキシムガス&シロキサンガスの影響で、除湿素子の性能が短期間で低下してしまいます。）
   推奨品：変成シリコンコーク（コニシ㈱製）又はアクリルコーク（コニシ㈱製）
   変成シリコンコークの主成分はポリウレタンです。
   上記以外のシール剤を使用される場合は、弊社までご相談願います。
8. 屋外用で使用する場合は、
   MDL-3、MDL-5、MDL-7：雨水や虫が入らないよう防虫ネット（パンチングメタル）付防雨カバー（オプション部品）を必ず取付けてください。
   PD2、PD3、RD3、RD4：素子部が水等で濡れないよう「カバー、透湿シート等」で保護してください。
9. 放湿側を密閉状態や換気の悪い状態にならないよう注意してください。
10. 気化性防錆剤、防虫剤との併用、並びに有機ガスの濃い場所での使用は避けてください。
11. 粉塵・オイルミスト等の使用環境で使用される場合は、弊社までご相談ください。
12. 故障の原因となりますので、絶対に分解したり、勝手に修理・改造をしないでください。

除湿器の使用上の注意事項

1. 本器の適用に当たっては、容器が密閉構造になっていることを前提としております。また、容器の材質に透湿性がある場合は、期待通りの効果が得られませんので注意願います。
2. 本器を設置する場合、出来るだけ容器内の側面中央部に取付けてください。（天井面、床面への取付は避けてください。）
3. 密閉用のゴムパッキン等に酸化防止剤が含有されている場合、まれに除湿素子面に結晶が析出する場合がありますので、十分なご評価をお願いします。
4. 容器の気密性を確保するため、シール剤を使用される場合は、シリコン系シール剤の使用を避けてください。
   （シール剤が硬化する際に発生するオキシムガス&シロキサンガスの影響で、除湿素子の性能が短期間で低下してしまいます。）
   推奨品：変成シリコンコーク（コニシ㈱製）又はアクリルコーク（コニシ㈱製）
   変成シリコンコークの主成分はポリウレタンです。
   不明な場合は、弊社までご相談ください。
5. 放湿口には水が当たらないように注意してください。
   屋外で使用する場合は、雨水や虫が入らないよう必ず防虫ネット（パンチングメタル）付防雨カバー（オプション部品）を取付けてください。
6. 放湿側を密閉状態や換気の悪い状態にならないよう注意してください。
7. 気化性防錆剤,防虫剤との併用、並びに有機性ガスの濃い場所での使用は避けてください。
8. 粉塵・オイルミスト等の使用環境で使用される場合は、弊社までご相談ください。
9. 故障の原因となりますので、絶対に分解したり、勝手に修理・改造をしないでください。